

2026 年度 乳腺外科専門医申請のご案内（救済措置）

新専門医制度に基づく暫定救済措置です

本申請は、サブスペシャルティ領域カリキュラム制導入の遅延により新専門医制度への参加が遅れた方への救済措置として、2018 年、2019 年、2020 年 4 月に外科学会の研修プログラムを開始した方を対象に、2019 年、2020 年、2021 年（2018 年外科プログラム開始の方は 2019 年、2019 年外科プログラム開始の方は 2020 年、2020 年外科プログラム開始の方は 2021 年）4 月から乳腺外科専門医研修カリキュラムを開始したものとして申請を受け付けるものです。2022 年から 2025 年 4 月のカリキュラムへの登録の有無にかかわらず申請可能です。

なお、専門医試験に合格された場合は 2026 年 1 月より乳癌学会の乳腺専門医に認定されます。今後日本専門医機構の審査を通過した場合は乳腺外科専門医として認定される予定です。現状では、時期や審査方法等決まっておきませんので、決定次第お知らせいたします。

I.乳腺外科専門医新規申請資格

- (1) 日本国の医師免許証を有していること。
- (2) 申請時点で日本乳癌学会に入会しており、会費を完納していること（2025 年度の会費まで）。
- (3) 2018 年、2019 年、2020 年 4 月に外科学会の研修プログラムを開始しており、外科専門医を取得済みであること。
- (4) 乳腺外科専門医・研修カリキュラムの基幹施設・連携施設（以下、基幹・連携施設）もしくは日本乳癌学会が認定した認定施設・関連施設（以下、認定・関連施設）において所定の研修カリキュラムに従い、常勤で 2018 年 4 月外科プログラム開始の方は 2019 年 4 月以降通算 3 年以上、2019 年 4 月外科プログラム開始の方は 2020 年 4 月以降通算 3 年以上、2020 年 4 月外科プログラム開始の方は 2021 年 4 月以降通算 3 年以上 修練を行っていること。

※非常勤の場合は、常勤に準ずる勤務である旨の施設長による勤務証明書が必要。

（書式自由 但し、勤務形態等、常勤に準ずる勤務と判断した根拠を記載のこと。）

- (5) 基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における術者としての乳癌経験症例が、2018 年外科プログラム開始の方は、2018 年 4 月以降 100 例以上、2019 年 4 月外科プログラム開始の方は 2019 年 4 月以降 100 例以上、2020 年 4 月外科プログラム開始の方は 2020 年 4 月以降 100 例以上 あること。

※（4）（5）については次ページの表もご参照ください。

外科プログラム開始時期	2018 年 4 月	2019 年 4 月	2020 年 4 月
カリキュラム開始 みなし時期	2019 年 4 月	2020 年 4 月	2021 年 4 月
修練期間 (基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における)	2019 年 4 月以降 3 年間	2020 年 4 月以降 3 年間	2021 年 4 月以降 3 年間
症例数 (基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における)	2018 年 4 月以降 100 症例以上	2019 年 4 月以降 100 症例以上	2020 年 4 月以降 100 症例以上

(6) 学術発表：査読を伴う全国規模の学会（乳癌学会地方会は可）で、筆頭者として 2 件以上乳癌疾患に関する発表をしていること（ただし、日本乳癌学会学術総会もしくは国際学会の場合は 1 件でも可）。

(7) 論文発表：査読を伴う学術雑誌に筆頭者として原著あるいは症例報告に関する 1 編以上の乳癌疾患についての論文発表を行っていること。

* (6) (7) について、業績として認められるかは最終的に専門医制度委員会・認定委員会での判断となる。

(8) 乳癌学会が主催する 2022 年以降の専門医・認定医セミナーを受講していること。

II.申請期間

2025 年 5 月 1 日（木）～2025 年 7 月 31 日（木）23：59

申請書類は会員ページ（以下、My Web）よりデータにて提出してください（郵送不可）。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III.申請書類

作成にあたっての注意事項

- ・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります
- ・記入欄が不足している場合は、適宜追加してください。
- ・Excel で提出するものと PDF で提出するものがあります（Ⅷ.参照）。
- ・審査員が見やすいように提出してください（不鮮明なもの不可）。
- ・指定のファイル名（Ⅷ.チェックリスト参照）で提出してください。

① 乳腺外科専門医救済措置新規申請書

・まず始めに、NCD 症例の提出（後述）、My Web の登録内容のアップデートを行ってください。

・申請書は My Web の「資格情報確認・申請」 から申請に進んでいただき、ダウンロードしてください。My Web の登録内容が反映されます。

My Web <https://jbcs.members-web.com/login>

・必要箇所をご入力ください。

② 乳腺外科専門医新規 実績目録

「2.診療経験(参考)」は参考として入力してください。

③ 学術活動一覧

【学術発表】

査読を伴う全国規模の学会（乳癌学会地方会は可）に、筆頭者として 2 件以上乳腺疾患に関する発表をしていること（ただし、日本乳癌学会学術総会もしくは国際学会の場合は 1 件でも可）。

・発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か、会期がわかるページと抄録を添付し、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。

※過去の乳癌学会学術総会の抄録については、会員専用ページにて閲覧可。

【論文発表】

査読を伴う学術雑誌に筆頭者として原著あるいは症例報告に関する 1 編以上の乳腺疾患についての論文発表を行っていること。

・査読システムが認定委員会で確認できないものは不可。

・論文別刷あるいは論文が掲載されている学術雑誌の論文の全文コピー（出典・論文全体の内容がわかるもの）を添付し、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。

・2025 年 7 月 31 日までに採択の返事を得られている場合には、それを証明できるものを提出すれば認めるが、投稿中であっても 2025 年 7 月 31 日までに採択の返事を得られていない場合には業績として認められない。なお、掲載予定の論文は論文原稿に掲載証明書（アクセプトメール可）を添付して提出をすること。

④ 基幹・連携施設/認定・関連施設修練修了証明書（施設ごとに 1 枚提出すること）。

・非常勤の場合は常勤に準ずる勤務である旨の施設長による勤務証明書を添付。

（書式自由 但し、勤務形態等、常勤に準ずる勤務と判断した根拠を記載のこと。）

⑤ 症例の提出について

NCD 登録があり、乳癌の確定診断のついた術者としての症例のみ対象（良性・疑いは不可）。

<対象症例>

- ・表示専門医「乳腺外科 乳癌登録」にチェックがあるもの。
- ・ステータスが「完了(承認済)」となっているもの。

(術式)

NP0188：乳腺悪性腫瘍手術 2.乳房切除術 腋窩部郭清を伴わないもの

NP0283：皮膚温存乳房全切除術

NP0284：乳頭温存乳房全切除術

NP0285：乳管腺葉区域切除術 ※2019 年以前は OP0022：乳腺腺管腺葉区域切除術

NP0294：乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（内胸、鎖骨上、下窩など郭清併施）

※2022 年以前は OP0032：乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清併施）

NP0295：乳腺悪性腫瘍手術 ラジオ波焼灼術

OP0028：乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）

OP0029：乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）

OP0030：乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴う）（胸筋切除を併施しない）

OP0031：乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴う）（胸筋切除を併施）

<症例の提出方法>

NCD のシステムにログインをしていただき、別途マニュアル「NCD-Person マニュアル」（HP に掲載）に従い、申請前に以下の URL より「提出する」を実施してください。NCD から事務局へデータが提供され、個々の My Web に反映されます。「提出する」を実施いただいてから、My Web への反映までには時間がかかりますので、申請を検討されているようでしたら、早めにシステムからの提出をお願いいたします。

NCD-Person： <https://system.ncd.or.jp/member/~jbcs/>

※NCD 検索リストの提出は不要です。

※NCD から提供される手術症例数は、2024 年 12 月分までとなり、2025 年分は提供されません。2025 年分を提出しないと 100 例に満たない場合は、「⑤診療経験目録（NCD 登録なし 2025 年 1 月以降の症例）」に 2025 年分のみ記載し、指導責任者の証明をもらってください。

※システム上、申請対象外の期間の症例数も含めて表示されます。（例えば 2018 年 4 月に外科プログラムを開始した場合、対象となるのは 2018 年 4 月以降の症例ですが、

2018 年 3 月までの該当症例も含めて表示されます。対象期間の症例数が、100 例に満たない場合は事務局よりご連絡いたします。

- ⑥ 2022 年以降の専門医・認定医セミナー受講証
- ⑦ 医師免許証
- ⑧ 臨床研修修了証（2004 年以降医師免許取得の場合）
- ⑨ 外科専門医認定証

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う専門研修への配慮に伴い、2025 年 1 月 1 日に遡って外科専門医として認定される予定の方におかれましては、他の要件が揃えば、今年乳腺外科専門医新規申請をしていただくことが可能です。外科専門医認定証は後日届き次第ご提出ください。

<上記に該当する場合の申請方法>

My Web の申請画面の「基本領域学会専門医の取得年月日/番号を入力してください」において、「基本領域認定年月日」に「2025 年 1 月 1 日」と入力、「基本領域認定番号」に「遡り予定」と入力し、外科専門医認定証以外の申請書類を期日内に提出してください。

外科専門医認定証が届きましたら、PDF にして事務局宛メールにて提出してください。

提出先メールアドレス：office@jbcs.gr.jp

外科専門医（2025 年 1 月 1 日認定）として認められなかった場合は、申請を取下げとさせていただきますので、ご了承ください。

- ⑩ 顔写真（JPEG,JPG,PNG）

書類審査合格後、受験票に使用いたします。3 ヶ月以内の無帽、正面向、上半身写真、白黒・カラーどちらでも可。

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること。
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつぎ合わせ確認が出来るようにしておくこと。

IV. 認定医の同時取得が可能です ※認定医の取得は任意です。

新認定医制度について

2024 年度より、乳腺診療の質を日本乳癌学会が保証する認定制度として、新しく生まれ変わり、指導医専門医取得・更新の際に希望されれば、認定医が取得できることとなりました。希望される場合は、My Web にて申請の際、「認定医の同時取得をご希望の方は、チェックを入れてください。」にチェックをしてください。希望され、合格した場合は乳腺専門医認定料に追加して認定医認定料 1 万円が必要となります。

乳腺認定医認定期間：2026 年 4 月～2031 年 3 月（乳腺専門医認定期間と異なります。乳腺専門医認定期間：2026 年 1 月～2030 年 12 月）

V. 申請料・提出方法

申請料：10,000 円

※認定医の同時取得を希望する場合も、別途追加の申請料は不要です。

My Web より申請書類のアップロードと申請料の支払い（クレジットカードでのお支払いをお勧めしております）をお願いいたします。詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい。Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、Ⅷ. チェックリストにて事前にご確認ください。受領メールはお送りいたしませんので、My Web にて申請ステータスが「申請済」になっていることをご確認ください。

なお、既納の申請手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません。

VI. 今後のスケジュール

■9 月上旬（予定）…書類審査結果の通知

書類審査の可否はメールで連絡いたします。書類審査通過後、専門医試験のご案内をいたします。

受験料：30,000 円 書類審査通過後に My Web よりお支払いください。

■9 月末（予定）…専門医試験出願締切り

■11 月 1 日(土) 14：00～15：30…学科試験(CBT 方式)

申請書に入力いただく「希望する CBT 試験会場(都道府県)」から、当日空きのある会場へ割り振らせていただきます。希望する都道府県にて実施するテストセンターがない場合は近隣の都道府県のテストセンターでの受験を相談させていただく場合がございます。

■11 月 2 日(日)…口頭試問(WEB)

時間は書類審査合格後、個々に設定して連絡いたします。

■12 月中旬(予定) 試験結果通知

認定料：10,000 円 ※認定医の同時取得希望の場合は 20,000 円。試験合格後に My Web よりお支払いください。

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

不明な点がある方は事務局へお気軽にお問合せください。正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください。

VIII. チェックリスト ※全て My Web よりアップロード※

申請の前に NCD のシステム(NCD-Person)より症例を提出してください。III.申請書類

⑤<症例の提出方法>参照。

	申請書名	提出形式	ファイル名	備考
☐	①乳腺外科専門 医救済措置新規 申請書	Excel のま ま	ngs_kyusai_申 請者名	シート①～③の必要箇所に入力し 提出してください。シート④以降は PDF で提出となりますが、削除せ ずそのままご提出ください。
☐	②乳腺外科専門 医新規実績 目録			
☐	③学術活動一覧			
☐	④基幹・連携施設 /認定・関連施設 修練修了証明書	PDF(要施設 長印)	修練修了証明 書_申請者名	複数ある場合は続けてひとつの PDF におまとめください ※非常勤の場合は常勤に準ずる旨 の勤務証明書も添付
☐	⑤乳癌症例の診療 経験目録 (NCD 登 録なし：2025 年 1 月以降の症例)	PDF (要指 導責任者署 名)	診療経験目録_ 申請者名	2025 年 1 月以降の症例を提出する 場合のみ
☐	学術活動一覧の 添付書類 (論文・ 発表)	PDF	発表_申請者名 /論文_申請者 名	複数ある場合、論文と発表を分けて 一つの PDF におまとめください
☐	専門医・認定医セ ミナー受講証	PDF	受講証_申請者 名	
☐	医師免許証	PDF	免許証_申請者 名	
☐	臨床研修修了証 (2004 年以降医 師免許取得の場 合)	PDF	臨床研修修了 証_申請者名	
☐	外科専門医認定 証	PDF	認定証_申請者 名	
☐	顔写真	JPEG,JPG, PNG	写真_申請者名	書類審査合格後、受験票に使用いた します。3 ヶ月以内の無帽、正面向、 上半身写真、白黒・カラーどちらで も可。